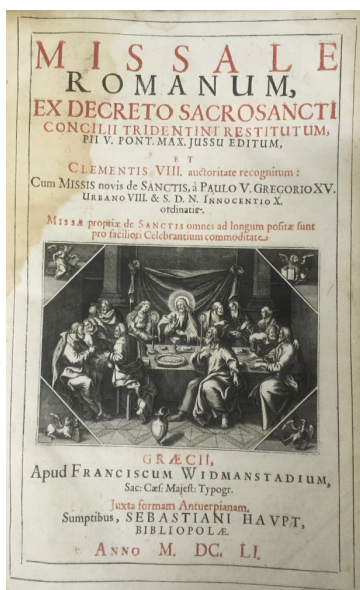




南葵音楽文庫
和歌山県立図書館内
和歌山市西高松 1-7-38
tel.073-436-9500
https://www.lib.wakayama-
c.ed.jp/nanki/

《ローマ・ミサ典書》
1651年 (K-13)



「祝福された処女
マリア」のための
ミサの叙唱

グレゴリオ聖歌

- (1) ローマ・カトリック教会の典礼聖歌（礼拝 [ミサ、聖務日課など] の祈りの言葉を歌う聖歌）
- (2) 伝承（870/80年頃に成立）に基づいて、その編纂に功績があったとされる教皇グレゴリウス1世（在位590~604年）の名に因んで一般的に「グレゴリオ聖歌 cantus gregorius」と呼ばれるが、今日、西洋音楽史では、同教皇と聖歌の直接的な関係はほぼ否定されている。
- (3) ヨーロッパ的な最初の芸術音楽
- (4) おそらく7~9世紀にガリアで成立
- (5) 主な音楽的特徴など
 - ① 単旋律（モノフォニー）：斉唱、あるいは独唱で歌われ、和音（伴奏）を伴わない。
 - ② 等価リズムによる歌唱（ソレーム唱法）が一般的。
 - ③ 旋法（教会旋法）に基づく。
 - ④ 旋律の類型
 - 朗唱定型によるもの
 - 一般的な旋律
 - ⑤ 歌い方
 - 交唱：2つの合唱体が交互に歌唱
 - 応唱：独唱と合唱体が交互に歌唱
 - 直詠：独唱、斉唱のみによる歌唱
 - ⑥ 楽譜：ネウマ譜 →
 - ⑦ 歌詞：基本的にラテン語。出典は聖書、特に詩編



《使徒書簡および福音書の朗唱法》(M-6/61) から朗唱定型の実例、左ページ下2段め→から
 Lectio epistolae beati Petri Apostoli 祝福された使徒パウロの書簡の朗唱
 Lectio epistolae beati Jacobi Apostoli 祝福された使徒ヤコブの書簡の朗唱
 Lectio libri apocalypsis beati Johannis Apostoli 祝福された使徒ヨハネの黙示録の朗唱
 Lectio Auctuum Apostolorum 使徒言行録の朗唱 …以下続く

中世カトリック教会の典礼：ミサ、聖務日課、教会暦

ミサ missa：最後の晩餐を記念して行われる典礼儀式

ユダヤ教…朝夕の食事の前の祈り(パンと葡萄酒による私的な祈り)

シナゴグの集会後、祝祭日の正餐に葡萄酒が供され、家長や指導者がパンを裂き、杯を参加者にまわしながら神に収穫を感謝する賛美の言葉を述べる習慣

→ パウロ：最後の晩餐を記念する儀式

『これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい』と言われました」(コリントの信徒への手紙一第11章24)

ミサの構成

歌われるもの	唱えられるもの
1.入祭唱 Introitus	
<u>2.キリエ Kyrie</u>	
<u>3.グロリア Gloria</u>	
6.昇階唱 Graduale	4.集祷文 Oratio
7.アレリヤ唱 Alleluia (あるいは詠唱続唱 Sequentia)	5.使徒書簡 Epistola
<u>9.クレド Credo</u>	8.福音書 Evangelium
10.奉献唱 Offertorium	11.奉献祈願 Secreta
12.叙唱 Prefatio	
<u>13.サンクトウス Sanctus</u>	14.ミサ典文 Canon missae
15.主の祈り Pater noster	
<u>16.アニュス・デイ Agnus Dei</u>	18.聖体拝領後の祈り Postcommunio
17.聖体拝領唱 Communio	
19.イテ・ミサ・エスト Ite missa es (あるいはベネディカムス・ドミノ Benedicamus Domino)	

下線赤文字 = 通常文 (共通文) Ordinarium
その他 = 固有文 Proprium

ミサ通常文 (共通文)

2.キリエ あわれみの賛歌

Kyrie eleison
Christe eleison
Kyrie eleison

主よ、あわれんで下さい。
キリストよ、あわれんで下さい。
主よ、あわれんで下さい。

3.グロリア 栄光の賛歌

Gloria in excelsis Deo.
Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.
Laudamus te. Benedicamus te.
Adoramus te. Glorificamus te.
Gratias agimus tibi
propter magnam gloriam tuam.
Domine Deus, Rex caelestis,
Deus Pater omnipotens.
Domine Fili unigenite Iesu Christe.
Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.
Qui tollis peccata mundi,
miserere nobis.
Qui tollis peccata mundi,
suscipe deprecationem nostram.
Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.
Quoniam tu solus sanctus.
Tu solus Dominus.
Tu solus Altissimus,
Iesu Christe.
Cum Sancto Spiritu, in gloria Dei Patris. Amen.

いと高き天では、神に栄光がありますように。
そして地上では、善意の人に平和がありますように。
私たちは、あなたをほめ、祝福します。
私たちは、あなたを崇拜し、栄光をたたえます。
私たちは、あなたに感謝します、
なぜなら、あなたの栄光が偉大だからです。
神なる主、天の王、
全能の父である神よ。
主である、ひとり子、イエス・キリストよ。
神なる主、神の子羊、父の御子、
世の罪を除いて下さる方よ、
私たちがあわれんで下さい。
世の罪を除いて下さる方よ、
私たちの願いを聞いて下さい。
父の右に座る方よ、私たちがあわれんで下さい。
なぜなら、あなただけが聖であり、
あなただけが主であり、
あなただけがいと高き方だからです、
イエス・キリストよ。
聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。アーメン。

9.クレド 信仰宣言

Credo in unum Deum,
Patrem omnipotentem, factorem caeli et terrae,
visibilium omnium et invisibilium.
Et in unum Dominum,
Iesum Christum, Filium Dei unigenitum.
Et ex Patre natum ante omnia saecula.
Deum de Deo, lumen de lumine,
Deum verum de Deo vero.
Genitum, non factum, consubstantialem Patri :
per quem omnia facta sunt.
Qui propter nos homines,
et propter nostram salutem descendit de caelis
Et incarnatus est de Spiritu Sancto
ex Maria Virgine : Et homo factus est.
Crucifixus etiam pro nobis : sub Pontio Pilato :
passus, et sepultus est.
Et resurrexit tertia die, secundum Scripturas.
Et ascendit in caelum : sedet ad dexteram Patris.
Et iterum venturus est cum gloria,
iudicare vivos et mortuos :
cuius regni non erit finis.
Et in Spiritum Sanctum, Dominum,
et vivificantem :
qui ex Patre Filioque procedit.
Qui cum Patre et Filio simul adoratur,
et conglorificatur :
qui locutus est per Prophetas.
Et unam sanctam catholicam
et apostolicam Ecclesiam.
Confiteor unum baptisma
in remissionem peccatorum.
Et exspecto resurrectionem mortuorum.
Et vitam venturi saeculi. Amen.

私は、唯一の神を信じます、
全能の父、天と地、見る事ができるもの、
見る事ができないもの、すべての造り主を。
また私は、唯一の主を信じます、
神のひとり子、イエス・キリストを。
主はすべて、世の先に父より生まれました。
神よりの神、光よりの光です。
まことの神よりのまことの神です。
[主は] 造られることなくして生まれ、父と一体です。
すべては主によって造られました。
主は、私たち人類のために、
また私たちの救いのために天より下りました。
そして聖霊によって
処女マリアより御からだを受け、人となりました。
ポンテオ・ピラトのもとで私たちのために
十字架につけられ、苦しみを受け、葬られました。
そして聖書にあるように、三日目によみがえりました。
そして天に昇り、父の右に座しました。
主は、栄光のうちに再び来て、
生きる人と死者とを裁きます。
主の国は、終わることがありません。
私は、主なる聖霊、
生命の与え主を信じます。
聖霊は、父と子から出て、
父と子とともに拝み、
あがめられ、
また預言者を通じて語りました。
また私は、一にして聖・公・
使徒継承の教会を信じ、
罪の赦しのためである唯一の
洗礼を認め、
死者のよみがえりと
来世の生命とを待ち望みます。アーメン。

13.サンクトゥス 感謝の賛歌

Sanctus, Sanctus, Sanctus
Dominus Deus Sabaoth.
Pleni sunt caeli et terra gloria tua.
Hosanna in excelsis.
Benedictus qui venit in nomine Domini.
Hosanna in excelsis.

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、
万軍の神である主。
主の栄光は、天地に満ちあふれます。
天のいと高きところにホザンナ。
主の御名によって来る方に、祝福がありますように。
天のいと高きところにホザンナ。

16.アニュス・デイ 平和の賛歌

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi :
miserere nobis.
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi :
dona nobis pacem.

神の小羊、世の罪を除いて下さる主よ、
私たちをあわれんで下さい。
神の小羊、世の罪を除いて下さる主よ、
私たちに平安を与えて下さい。

ミサ固有文の実例

降誕祭のミサの入祭唱

Puer natus est nobis, et filius datus est nobis : cujus imperium super humerum ejus : et vocabitur nomen ejus, magni consilii Angelis. Cantate Domino canticum novum : quia mirabilia fecit.

ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれました。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、永遠のみことばと呼ばれる(イザヤ書9章6)。新しい歌を主に歌え。神は不思議なわざを行われた(詩編98)。

復活祭のミサの入祭唱

Resurrexi, et adhuc tecum sum, alleluia : posuisti super me manum tuam, alleluia : mirabilis facta est scientia tua, alleluia. Domine probasti me, et cognovisti me : tu cognovisti sessionem meam, et resurrectionem meam. わたしは死者のうちから立ち上がり、神とともに生きる、アレルヤ。神の手はわたしの上であり、そのはからいは神秘に満ちている(詩編139:18)、アレルヤ。主はわたしを究め、わたしを知っておられる。座るのも立つのも知っておられる(詩編139:1-2)。

聖務日課 officium : 1 日を一定の時間に区切って行われる礼拝

ユダヤ教の私的祈り(祈禱と神への賛歌の歌唱) → キリスト教: 修道士たちの祈り

エジプトのパコミウス(4 世紀): 修道院制(共同生活) → ヨーロッパに拡大

パウロ「絶えず祈りなさい」(テサロニケの信徒への手紙一第5章17) → 祈りの制度 = 聖務日課に発展

聖ベネディクトゥス(480~550年頃): 《戒律》(8回の祈りを規定)

詩編119編164: 「日に7たび、わたしはあなた[主]を賛美します」

147: 「わたしは]夜明けに先立ち、助けを求めて叫び」 → 合計 8 回の祈り

- ①朝課 matutinum (夜半) ②賛課 laudes (日の出の時刻) ③一時課九時課 nona(午後3時)
- ④三時課 tertia (午前9時) ⑤六時課 sexta (正午) ⑥九時課 nona (午後3時)
- ⑦晩課 vespers (日没時) ⑧終課 completorium (就寝前)

聖務日課の実例: 晩課

《神よ、助けて下さい Deus, in auditorium》詩編第 69 編 2 + 「グロリア・パトリ Gloria Patri」

アンティフォナ + 詩編 + アンティフォナの繰り返し

アンティフォナ + 詩編 + アンティフォナの繰り返し

アンティフォナ + 詩編 + アンティフォナの繰り返し

アンティフォナ + 詩編 + アンティフォナの繰り返し

アンティフォナ + 詩編 + アンティフォナの繰り返し

小朗読 (聖書朗唱) + 「神に感謝 Deo gratias」

レスポンソリウム

賛歌

先唱句と応唱句 + アンティフォナ + マニフィカト Magnificat + アンティフォナ

キリエ + 主の祈り + 祈禱

《わたしたちは主を祝し Benedicamus Domino》

教会暦 (典礼暦)

ユダヤ教: 年間の日々を宗教上の暦で秩序づける

1 週間: 6日の労働の後に1日の安息日(創世記第2章)

→ キリスト教: 年間の礼拝を通じて新旧約聖書の主要部分が読まれるように典礼スケジュールを体系化

教会暦 (主要な祝日のみ)

聖節の部

待降節 (第1主日は11月27日
から12月3日の間の日曜日)

降誕祭 (12月25日)

降誕節 (12月25日から12日間)

公現祭 (1月6日)

公現節 (期間は1週間から6週間に増減)

七旬節 (四旬節第1主日の3週間前、
主日は復活祭の9週間前)

六旬節 (四旬節第1主日の2週間前)

五旬節 (四旬節第1主日の1週間前)

灰の水曜日 (復活祭の45日前)

四旬節 (灰の水曜日から復活祭前の45日間)

受難の主日 (四旬節第5主日)

受難節 (復活祭前の2週間)

枝の主日 (復活祭の1週間前)

聖週間 (復活祭前の1週間)

聖木曜日

聖金曜日

聖土曜日

復活祭 (春分直後の満月後、最初の日曜日、 3/22から4/25の間の日曜日)

復活節 (復活祭後の40日間、
昇天の祝日まで)

聖霊降臨祭 (復活祭後50日目)

聖霊降臨後第1主日 (三位一体の祝日)

聖人祝日の部

聖アンデレの祝日
(11月30日)

聖母マリアの潔めの祝日
(2月2日)

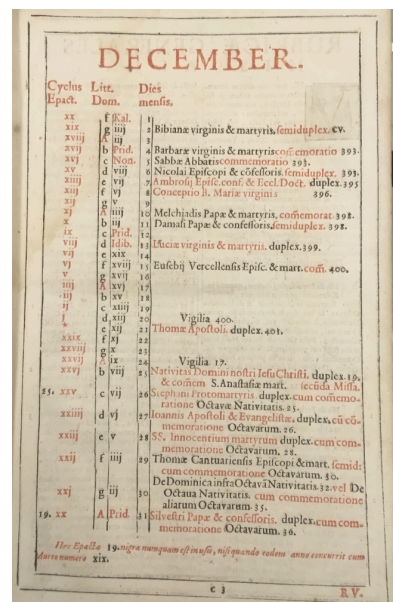
聖母マリアのお告げの祝日
(受胎告知3月25日)

聖母マリア被昇天の祝日 (8月15日)

聖母マリア誕生の祝日 (9月8日)

大天使ミカエルの祝日 (9月29日)

諸聖人の祝日 (11月1日)



「教会暦」から 12 月
《ローマ・ミサ典書》
1651 年 (K-18)